一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 平成２８年第４回定例会

平成２８年１２月７日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	日本共産党議員団 米 重 健 男	1　公契約条例について 2　国民健康保険について 3　ＪＲ向日町駅東側改札口について 4　就労支援について 5　スポーツ振興について
2	新 政 ク ラ ブ 清 水 敏 行	1　水道事業の決算について 2　第２保育所の建て替えについて
3	公 明 党 議 員 団 長 尾 美矢子	1　高齢者対策について 2　国民健康保険運営における保険者努力支援制度について 3　Ｂ型肝炎ワクチンについて
4	ＭＵＫＯクラブ 近 藤 宏 和	1　公教育について 2　市民サービスについて 3　軽自動車救急車の導入について
5	市 民 ク ラ ブ 飛鳥井　佳子	1　交差点等の道路の段差をなくすことについて 2　女性センター、ＮＰＯセンターの重要性を考え、早期実現を！について 3　向日市公認ゆるキャラをつくることについて 4　敬老記念品等について 5　少年を取り巻くサイバー犯罪、ＳＮＳ、スマホ、ポケモンゴーなどの危険性について啓発することについて
6	村 田 光 隆	1　学校給食について 2　本市の交通安全対策について
7	日本共産党議員団 北 林 重 男	1　障害者相談支援事業の課題と対応について 2　漏えい・紛失の危険性増すマイナンバー制度について 3　年金カットを止めることについて
8	新 政 ク ラ ブ 天 野 俊 宏	1　高齢者の係わる交通事故について 2　地区計画制度を活用したまちづくりについて 3　向日市国民健康保険について 4　職員の人事管理について
9	公 明 党 議 員 団 福 田 正 人	1　食品ロス削減に向けての取り組みの推進について 2　フードバンク活動の推進について

１０	市 民 ク ラ ブ 杉 谷 伸 夫	１　憲法改正問題②「地方自治体財政の自己責任と住民の負担分担義務を憲法上に明記することのもたらす影響」について ２　マイナンバー制度の新たな問題について ３　水道料金を引き下げることについて ４　国民健康保険料の見直しについて ５　公立／民間保育所の整備･運営費の本市の実質負担について
１１	日本共産党議員団 松 山 幸 次	１　核兵器廃絶「ヒバクシャ国際署名」推進について ２　南スーダンの自衛隊は撤退し、憲法を守り「戦争する国」づくりを許さない問題について ３　向日市公共施設等総合管理計画（案）について ４　コミバスの早期実現について ５　まちづくりについて
１２	公 明 党 議 員 団 冨 安 輝 雄	１　防災・減災・安全対策について
１３	日本共産党議員団 常 盤 ゆかり	１　中学校給食実施へ向けての進捗状況と課題について ２　中学校における『部活』について ３　貴重な長岡宮跡牛車わだち跡複製の保存・活用について ４　耐震改修後の本庁舎の機能充実について
１４	日本共産党議員団 山 田 千枝子	１　第２保育所を公立で建て替え存続する事などについて ２　来年度実施の介護保険の新総合事業などについて ３　北部人口増による４向小と寺戸中の生徒の受け入れ及び地域要望について
１５	日本共産党議員団 丹 野 直 次	１　京都地方税機構の強権的な差し押さえを改め、納税者の権利拡充を求めることについて ２　予算要求に関連してについて ３　４０年を超えた高浜･美浜原発の再稼働に反対表明をについて

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）　分割質問

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、　公契約条例について	安田市長におかれても、「一日も早い条例の制定を目指したい」とお答えいただいたところである。また、日本共産党議員団から提出した「平成29年度向日市予算編成に対する要望」においても公契約条例の制定を求めているところである。 ・制定に向けての進捗状況はどの様になっているか。 ・制定の時期はいつか。 ・制定に当たっては市民や関係者等の意見を取り入れる機会をどの様に設けていくのか。 ・公契約条例についてその効果を存分に発揮させるためには精神条例とならないように賃金下限等を具体的に定める条項が必要であると考えるがどうか。
2、　国民健康保険について	向日市国保運営協議会において示された資料によれば、標準保険料率の下では、一人当たりの保険料が約1万円、12%の引き上げになるとの事である。 ・標準保険料率が示された場合、本市としてはその通りの保険料とするつもりであるのか ・市民の4分の1が加入する保険にあって、その被保険者の 8 割以上が低所得者層であることは市民の内、最も困窮した人々が加入しているということでもある。これに対して市税を投入する事は互助の精神に鑑みれば何ら問題が無い様に見える。法定外繰入金によって市民の生活を守ってきた。公平性の点から見ても市民の4分の1に対して確実に効果をあらわす施策である。今後も法定外繰入金による保険料の軽減を続けるべきであると考えるがいかがか。 ・国保都道府県化の効果として医療費の適正化、収納対策、保健事業等へのインセンティブによる保険者機能の強化などは、受診抑制や滞納世帯への過度の取り立て、行政による市民生活への過干渉へとなりかねない。今後の向日市国保の運営についてどの様な考え方に立つのか。

3、　JR 向日町駅東側改札口について	東側改札口の開設は、駅東側から駅や市街中心部へのアクセスの確保から、望まれ続けてきた。開設の準備として、国交省の先導的官民連携支援事業の国庫補助採択を得て調査に着手したとの事である。 ・調査の進捗状況はどうなっているか。 ・調査の結果について、公表される時期はいつ頃か。 ・現在、JR と交渉中であるとの事であるが、交渉の内容について市民に公開するべきではないか。 ・向日上鳥羽線をはじめとするアクセス道路の建設について京都市との協議はどの様になっているか。 ・京都府とは開設に向けた支援の要請、協議等は行っているか。 ・調査について国庫補助を受けたが、開設についても国からの支援を受けられるか。 ・調査後、開設に当たって市民の意見を取り入れる機会をどの様に設けていくのか。
4、　就労支援について	向日市社会福祉協議会、乙訓ももによって自立相談支援事業並びに就労支援準備事業等を行っているが、求職活動を具体的に行うには京都市内のハローワークへと出向く必要があり、求職中の無業者、失業者にとって軽い負担ではない。書類の作成等を支援できるのであれば、負担の軽減に繋がるものであると考える。 ・就労支援施策の一環として求職活動等に必要な書類作成のための情報処理端末の設置を求める。
5、　スポーツ振興による健康増進について	市民体育館・ふれあい広場等で様々なスポーツが実施されている。用具の保管場所が無い事から利用者自身が用具の運搬を行うこととなる。市民体育館等へのアクセスには居住する地域によっては前田地下道を通行することもあり、荷物を積載した状態の自転車では交通事故に遭う危険性が増大するものである。特に高齢者にあってはこうした負傷が原因で健康を著しく損なう恐れもあり、大きな問題であると考える。前田地下道の改修により、事故防止を目指すのが根本的解決であると思うが、直ちに行えるものではなく、即効性に欠けるものであると考える。 ・市民体育館又はふれあい広場及び、市民がスポーツに利用する施設周辺において個人若しくは団体等によって利用できる、用具置き場の設置を求める。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	清水　敏行	所属会派名	新政クラブ

表　　題	質問事項（質問の要旨）
1　水道事業の決算について	水道事業会計は 26 年度より、公営企業会計を適用されている。 結果、25 年は△525 百万、26 年は＋114 百万、27 年は+177 百万と収支が好転していると思われますが、会計処理の変更で実態が変わることはありません。 従来は、工事負担金と新規給水加入金の入金を資本剰余金としていた。(利益計上されていない) この資本剰余金をそのままにして、給配水管の修理代、漏水の調査費、設備費を都度支出していた。 26 年度よりこの資本剰余金を、長期前受金へ振替その内、26 年度・1 億 19 百万、27 年度・1 億 11 百万を長期前受戻入益として利益計上、これは資金を伴う利益ではないが、いかがか？ キャッシュフロー計算書では、現預金は 3 年間で 354 百万増加しているが、企業債による調達増が 166 百万円であり、純増は 188 百万となる。 今後も、企業債の償還額以上の調達を続けていくと資金的に行き詰まることになるが、いかがか？ 水道事業は最も重要なライフラインです、安心安全な水を今後、継続して供給するための各設備や施設の長寿命化を図る資金や、突発的な災害の復旧工事に多額の資金が必要になるが、いかがか？
2　第 2 保育所の建て替えについて	第 2 保育所は昭和 43 年開設以来 50 年程が経過し、現在は老朽化による修繕や設備の更新をされ、運営をされておりますが、昨年と本年の定例会において地域住民の方から、「第 2 保育所の建て替えについて」請願が提出され、採択をされました。 市議会においても、民間事業者の設置・運営される場合のメリットや民間と市立の保育水準の差がないことの市長の答弁がありました、本市の厳しい財政状況の中、第 2 保育所の建て替えを、民間の志のある社会福祉法人の手に委ね、保育を受けられる環境を整備すべきではないか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1．高齢者対策について	① 29 年 4 月から始まる総合事業はどのようなものを目指すか ② ニーズ調査の結果はどのようなものか その結果はどのように反映されるか ③ 今後のスケジュールについて ④ 協議体とコーディネーターの設置が義務付けられているが設置時期と取り組みの現状について ⑤ 認知症初期集中チームの設置予定と取り組みの現状について ⑥ 介護支援ボランティアポイント制度について
2．国民健康保険運営における保険者努力支援制度について	① 本市の保険者努力支援の取り組みについて ② 本市が充実させる取り組みは何か ③ 健康マイレージは健康に関心を持つ動機付けとして有効であるが、保険者努力支援制度の取り組みとしていかがか
3．B 型肝炎ワクチンについて	① 現在の接種人数、市民の反応 ② 2 歳未満、3 歳未満の人数と費用はいかがか ③ 1 歳未満から 2 歳未満、3 歳未満までの助成はいかがか

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

分割質問

質問者氏名	近藤　宏和	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．公教育について	（１）各保育所、小学校、学童、中学校等において、定期的な「場」（報告・連絡・相談の場）がありましたら、その頻度と出席者についてお伺い致します。 （２）もし、「問題」が発生した場合、現状どのような体制で対応されていますでしょうか。 （３）「問題」は誰の判断で「問題」となるのでしょうか。
２．市民サービスについて	（１）養子縁組の手続きは一般市町村が窓口だと思いますが、書類され揃っていれば、その場で受理せざるを得ないのでしょうか。 （２）郵送での提出も可能とありますが、本人の署名等どのような方法で確認をされてるのでしょうか。 （３）持参した方に対しては、本人確認書類等で確認をされると思いますが、養親となる方が持参されずに代理で来られた場合、養親に対してはどのような形でご確認をとっておられるのでしょうか。
３．軽自動車救急車の導入について	（１）基本的には乙訓市町会で議論すべきかと考えるが、狭い道が多い向日市においては有効なものかと思われるので、市長の見解をお伺いする。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	市民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
① 交差点等の道路段差をなくすことについて	以前、一般質問で要請した際、実験的に市民体育館前で段差をなくしていただき、とても好評なので街中にバリアフリー道路を広げてほしいがどうか。 阪急東向日駅付近の段差で転ぶ方があり、危険なので対応してほしいがどうか。
② 女性センター、NPOセンターの重要性を考え早期実現を！について	民間給与調査では、男性５１４万円に比べて、女性は半分の２７２万円しかなく、セクハラ、パワハラやＤＶが深刻な日本は世界の男女格差においてＧ７最下位で、１４４か国中１１１位と低く女性差別大国の汚名がある。 他市では老朽化するほどに女性センター、ＮＰＯセンターが活用されており、当市も真剣に「男女平等」や「市民自治」を具体化してほしい。 拠点施設は他市ではあって当たり前の人権施策であり、若い世代のためにこそ早期に対策が必要だがどうか。
③ 向日市公認のゆるキャラをつくることについて	「カラッキー」「ムコりん」「かぐほちゃん」などがあるが、公認のゆるキャラはなく、市民公募してはどうか？

④ 敬老記念品等について	・ 本市には多数の社会福祉法人があり、市はこれらの指導監督、監査を、どのような体制でしているのか。 ・ 平成２９年４月から社会福祉法等の一部改正が行われるが、内部留保を明確化し地域福祉事業に還元することとなったので、来年以降どのように指導監督をするのか。 ・ 社会福祉協議会がこれまで用意してきた敬老記念品は、これまで高齢者に喜ばれてきたがこれは内部留保を活用した公益的な取り組みとなるのか。 ・ 今回、市が歯ブラシを用意されましたが、市財政も苦しく来年はよく協議し対応してほしいがどうか。 ・ 今回、体育館であったが会場が広すぎ、市民会館のときのホールの椅子がいいので来年は新しい市民会館で敬老会を開催してほしいがどうか。
⑤ 少年を取り巻くサイバー犯罪、ＳＮＳ、スマホ、ポケモンゴーなどの危険性について	サイバー犯罪の検挙件数は、平成２３年に５,７４１件であったものが、平成２７年には、８,０９６件と増加し、児童買春、児童ポルノ禁止法違反、青少年育成条例違反等逮捕者がでている。性的脅迫や詐欺サイトに苦しむ人を救うため、京都府警サイバー犯罪対策課の支援について広報等で啓発してほしいがどうか。 また、小中学校ではどのような対応をしておられるのかを伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

分割質問

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．学校給食について	三重県鈴鹿市では、日照不足による野菜価格の高騰により、給食会計の運営が厳しいとの理由により、市内の幼稚園と小学校の給食を 2 日間中止するという、衝撃的なニュースが全国を駆け巡った。 反響の大きさに驚いたのか、鈴鹿市長がその後中止を撤回し、1 日は食材の変更でやり繰りし、もう 1 日は防災訓練を行い、炊き出しを給食替わりにするということで回避している。今回の騒動は本市も他人事ではない。 安心・安全な給食を提供するためには、安定した食材の確保が不可欠である。 1993 年に発生した、平成の米騒動は緊急に輸入したタイ米が結局使い切られずに廃棄処分され、米相場が高騰し、アジア諸国からひんしゅくを買った。 本市の不測の事態に対する備えと取り組みを聞く。 鈴鹿市では、地産地消の条例も給食中止騒動の一因であると言われている。 スーパーの店頭で中国産と書いてあると、誰も買わなくなったが、加工食品には産地表示の義務はこれまでなかったので、紅しょうがや竹の子の水煮、らっきょうなどわざわざ国産と書いてない限り、中国産が使われている。 以前勤めていた冷凍食品会社で、ハンバーグを作っていたが、玉葱は中国産であった。業者から運ばれてきたものをそのまま検査もせずに使用していたので、本当に安全なのかどうか従業員にもわからなかった。 輸入された中国産食品の一割しか検査されていないという報道もある。 外食産業や加工食品で使用されている外国産は、本当に安全なのか誰にもわからない。 本市の学校給食での、外国産食材に対する考え方を聞く。

２．本市の交通安全対策について	高齢者の運転免許証自主返納について 交通事故の総数は、年々減少傾向にあるが、高齢者の運転による事故は増加し続けている。 高齢者の運転事故を防止するための対策を今以上に講じなければならない。 その一つとして運転免許証の自主返納制度がある。 しかし免許証を返納して運転できなくなると、移動手段が狭まり、買い物の不便や社会参加の機会を奪ってしまうことにもなりかねない。 各市町村では、自主返納者に対する支援を実施しているところがある。京都府内でも 14 の自治体が支援を行っている。 平成 30 年に導入を目指している、コミバスの乗車券を自主返納される方に交付してはどうか。 公用車の安全対策について 向日市の道路は複雑に入り組んだ、狭い道ばかりで、公用車の事故も散見される。 平成 27 年 12 月定例会の一般質問で、公用車のドライブレコーダー設置の提案をされた際、理事者が職員を対象とした安全運転講習会の実施を行っていると答弁された。どのような講習内容なのか伺う。 本年 12 月中にもドライブレコーダーの設置が全車完了するとのことであるが、職員の意識の変化など、安全運転にどのように寄与したのか伺う。 埼玉県や京都府福知山市では、職員に対して運転実技の研修を行っている。本市でも実技研修が必要ではないか。 自転車保険の加入促進について 近年自転車の加害事故による、賠償金が高額化しており、自転車保険加入の機運が高まっている。 平成 27 年 10 月に、自転車保険の加入を義務付けた兵庫県を皮切りに、大阪府、滋賀県が条例を制定した。 京都府では自転車保険の加入は、努力義務にとどまっているが、京都市では義務化条例制定の準備をしている。 本市でも義務化を視野に入れた取り組みを行うべきではないか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

総括質問

質問者氏名	北林重男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．障害者相談支援事業の課題と対応について	①「サービス利用計画」策定に対応する相談支援事業所が拡充されていないこと ②サービス支援決定とサービス利用計画策定の権限の分離があること ③障害児者支援の専門性が十分担保されていないうえ、情報共有化が困難であること ④自立支援協議会の機能と役割における責任が不明確であること ⑤自治体の本来の役割が放棄され始めていること ⑥「介護保険優先」の問題点
２．漏えい・紛失の危険性増すマイナンバー制度について	①事業所で働く人が納める住民税の額などを記した新しい「通知書」には、従業員の名前、住所に加え、新たに１２ケタのマイナンバーを記入する欄が設けられる。市民が勤めている事業所に、マイナンバー入りの「通知書」が普通郵便で送ることを考えているのかを問う。 ②個人情報の漏えいを防ぐため、本人の意思確認なしでマイナンバーを記載した「通知書」を事業所に送ることを止め、従来通りマイナンバーを記載しない通知書を封書で送ることについて問う。 ③マイナンバーの業務委託などの負担金は「地方公共団体情報システム機構」の「言い値」で発注している政令市が２０市ある。本市も「言い値」で業務委託 を発注されているのかを問う。
３．年金のカットを止めることについて	①年金支給は低い方に合わせる（賃金と物価）ことで、年金給付額が引き下げられることについて ②年金削減は途切れなく実施されることについて ③物価高騰でも年金削減されることについいて ④現役世代への攻撃について ⑤年金積立金を株式投資につぎ込むことを止めること

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	天野　俊宏	所属会派名	新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
高齢者の係わる交通事故について	① 交通死亡事故の半数以上が高齢者であり、多くは夜間に発生しているが、本市の状況や事故防止の取り組み、対策等は如何か。 ② 現在、高齢の方が自動車運転時の事故が大きく取り上げられているが、本市においての取組みは如何か。 ③ 運転免許証を自主返納された方に対しての支援制度等の取り組みは如何か。
地区計画制度を活用したまちづくりについて	① 市街化調整区域における、地区計画制度の概要や目的、効果や市の方針について伺う。 ② 都市計画マスタープランとの整合性や土地利用転換に伴う雨水対策について伺う。 ③ 阪急洛西口駅西地域と森本東部地域のまちづくり協議会の活動状況や本市の支援の内容、また、各協議会の今後の予定とＪＲ向日町駅東口開設の進捗状況、今後の予定と開設時期について伺う。 ④ 国土交通省「先導的官民連携支援事業」の国庫補助での事業について伺う。

向日市国民健康保険について	① 11月21日に開催された国民健康保険運営協議会では、どのような議論が行われたのか伺う。 ② 試算結果は今後どのようなスケジュールで公表されるのか伺う。 ③ 運営協議会の議論を踏まえ、今後どの様に進めるか伺う。 ④ 保険料改定の影響を小さくするのであれば、平成29年度限りとなるが、市長の所見を伺う。
職員の人事管理について	① 職員給与のあり方や適正な評価について伺う。 ② ふるさと向日市の創生を実現する上での、故郷意識について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1　食品ロス削減にむけての取り組みの推進について.	① 学校や保育所等の教育施設における学校給食や食育・環境教育を通じて、食品ロス削減のための啓発を進めるべきと思うが如何か。 ② 市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取り組みが重要であると考えるが如何か。 ③ 災害時のための備蓄食料は、賞味期限間近となると、どのような対応をされているのか伺う。 ④ 賞味期限切れ間近の食品の有効な活用方法はあるのかを伺う。
2．フードバンク活動の推進について	① 本市のフードバンクに対する考えを伺う。 ② 今後展開の広がりが予想される中、本市において、どの様な支援策を考えるのかを伺う。 ③ 災害備蓄食品について、賞味期限切れまでにフードバンクに寄付を検討してはいかがか。 ④ フードバンクサービスを市の事業として展開してはいかがか。意見を伺う。 ⑤ 近年共働きやひとり親世帯が増え、一人で食事をする孤食の子供が増えている。そうした子供達を支援する取り組みとして「子ども食堂」の必要性について伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（~~総括質問~~・分割質問）

分割質問

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	市民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．憲法改正問題②「地方自治体財政の自己責任と住民の負担分担義務を憲法上に明記することのもたらす影響」について	（１）自民党改憲草案では、地方自治体の経費は、自主的な財源をもって充てることが基本とされているが、 ①そのようなことは現実には不可能ではないか？向日市も自主的財源で必要な経費をまかなうことは可能か？ ②不足財源については自治体の自助努力が今以上に強調され、国からの財源保障が弱まる恐れはないか。 （２）自民党改憲草案では、「住民はその属する自治体の負担を公平に分担する義務を負う」と規定しているが、 ①住民に憲法上の負担分担義務を課すことは、負担を負えない者にはサービスを保障しないことにつながらないか。 ②財源の自己責任条項と合わせると、本市の財政状態によっては憲法２５条で保障された基本的人権保障の施策を全ての市民に確保できなくなる恐れがあるのではないか
２．マイナンバー制度の新たな問題について	（１）個人番号カードの申請・交付の現状と問題点は？ （２）来年度から地方税の企業向け通知書に従業員一人ひとりの個人番号欄を設けるというが、個人番号の流出・漏えい等の問題が予想される。税額通知書に個人番号を記載するべきではないと考えるが、いかがか。 （３）向日市が現在検討中の個人番号カードを利用した、証明書類のコンビニ交付事業は大赤字が確実なので、実施を見合わせるべきではないか。
３．水道料金を引き下げることについて	（１）向日市の水道事業会計は、従来言われていたように多額の累積赤字を抱える大変な状態ではなく、健全な状態であると考えてよいか？ （２）高すぎる水道料金の引き下げは全市民の願いであり、引き下げを行うべきだと考えるが、いかがか。

	（３）基本料金を引き下げるなど、この機会に少量使用者に割高な料金体系の見直しをおこなうべきではないか。
４．国民健康保険料の見直しについて	市の財政が厳しい中で、国民健康保険特別会計に対する一般会計からの基準外繰り入れを今後も拡大していくことは、他の施策の実施を困難にすることから現実的に難しい。 一方で、国保の保険料の見直しは、向日市民の約４分の１を占める国保被保険者にとっては、とてつもなく高額な保険料を更に引き上げるという深刻な問題だ。 （１）全国で大半の市町村が、異常に高い保険料負担を少しでも抑えようと、独自の軽減施策＝基準外繰入を行っている。この国民健康保険の保険料軽減施策という位置づけ方について本市はどう考えるか。 （２）国保と被用者保険では、保険料に２倍程度の差があると思われる。国保以外の市民との不公平性をなくすためとして、保険料水準の格差を更に拡大することが果たして公平と言えるのか。 （３）本市の国保財政に占める国の実質的な負担割合は？
５．公立／民間保育所の整備・運営費の本市の実質負担について	公立第２保育所の建て替えに関連して、保育所の建設費および運営費について、公立で行った場合と民間で行った場合の本市の費用負担の差が、広報むこうに掲載された。定員１２０人の保育所の場合、建設費は３億６千万円で、向日市負担は民間で行った場合は約６％、２１９０万円、公立で行った場合は１００％、３億６千万円とある。年間運営費の向日市負担は民間の場合５９３０万円、公立の場合は１億５６００万円と約１億円の差となっている。しかしこの数字には地方交付税措置が全く反映されていないため、実質的な向日市の負担を表しておらず、誤解を与える。実態に近い数字を示すべきだ。 （１）120 人定員の公立保育所の建設費地方債と年間運営費に対する交付税措置額、本市の実質負担額、民間との差額の試算を示されたい。　　（以上）

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	松山幸次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、核兵器廃絶「ヒバクシャ国際署名」推進について	①今年４月から始まった平均年齢８０歳を超えた、被爆者が訴える「ヒバクシャ国際署名」はすでに５６万人分が国連に届けられている。 向日市はじめ、１６４３都市が加盟する「平和首長会議」総会（１１月７、８日千葉県佐倉市で開催）で、「ヒバクシャ国際署名」への賛同・協力が決まった。そこで、安田市長も署名していただきたいが、いかがでしょうか。 ②国連総会第１委員会（軍縮）は１０月２７日「核兵器禁止条約」の締結交渉を来年開始する決議が圧倒的多数の賛成で採択されました。しかし、日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、アメリカいいなりでこの決議に反対しました。あまりにも情けない態度です。市長の見解をお聞きしたい。
2、南スーダンの自衛隊撤退と憲法を守ることについて	①「戦争する国」づくりを許さない最大の問題は安保法制＝戦争法の、閣議決定を撤回させ戦争法を廃止することです。１２月１２日からの新任務【駆けつけ警護・宿営地共同防護】実行へ、１１月２０日陸上自衛隊第９師団（青森市）１３０人が出発した。しかし、日本は憲法９条に立った非軍事の人道支援、民生支援の抜本的強化へ転換すべきです。自衛隊の危険な新任務について、市長の見解は。 ②１０月２９日共同通信の世論調査では、安倍首相のもとでの改憲に反対５５％、賛成４２％だ。日本国憲法の前文を含む全条項を守ることが、安倍政権の改憲の動きに対する私たち市民の「対案」です。改憲の動きに対する市長の見解は。

3、向日市公共施設等総合管理計画（案）について	本計画は、安倍内閣・総務省の指示にもとづく、「行政改革計画」で、『民営化や縮減』など重大な内容が含まれている。そこで、①市民会館が早期に使えるようにすること。②公民館活動などに重大な支障が起きており、代替施設の確保を。③市公共施設のあり方について広く市民と議会の議論を。
4、コミバスの早期実現を	①バスルートの確定は最も大切であるが、同時にバス停の議論を。②コミバスの運賃はいくらが適切か。③阪急バスなどとの乗り継ぎは、④高齢者免許返納推進施策など、みんなでコミバス応援を。
5、まちづくりについて	①阪急西向日駅周辺整備と駅舎改修について、阪急電鉄（株）との合意は、進んでいるか。 ◆そして、「ふるさと向日市創生計画」に示されている【歴史文化拠点の整備】の具体的内容について。 ②長岡京市に続く、市道４０４７号線の小井川暗渠化の促進について。完了予定は平成何年度か。 ③三菱電機北側市道の通学路の街路灯増設について。 ④上植野コミセン前市道の歩行者安全対策について。 ⑤乙訓「ひまわり園」前歩道の水たまり解消を。 ⑥鶏冠井町草田の市道４０４７号線交差点の交通安全対策について。 ⑦牛ケ瀬勝竜寺線の上植野町地域の調査について。 ⑧森本・上植野幹線の太田・持丸地域の舗装改修を。 ⑨桂川サービスエリアのスマートインター構想について。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	冨安輝雄	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．防災・減災・安全対策について	１．　路面下空洞調査について １１月８日の早朝、福岡市のＪＲ博多駅前で、路面下の空洞が原因とみられる道路が陥没する事故が発生し、道路の下を通るさまざまなライフライン網が断ち切られた。 幸い死傷者は出なかったが、今回のような事故はどの自治体でも起こる可能性があり、向日市も早急な対策を講じるべきである。 ① このような大規模な事故を目の当たりにして、向日市として市民の安全を確保するため、財政面等の課題を乗り越えて調査を行うべきではないか ② 空洞調査を行う場合、どのような補助金の充当が可能か ③ 空洞調査については、数ヶ所の場所を選定して行う無料のサンプル調査を行っている業社もあるが、まずはサンプル調査を実施してはどうか ２．交通安全対策について 全国では、高齢者や認知症と思われるドライバー、てんかんの発作等で意識を失ったドライバーによる痛ましい事故が発生している。 ① 自動車の運転に支障のある疾患患者に対する啓発や対応について。 ② 高齢者の運転免許証自主返納支援の現状と取組について ３．本市の「向日市防災情報お知らせメール」を外国人市民の方にもわかりやすい多言語に対応することについて

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

分割質問

質問者氏名	常盤　ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．中学校給食実施へ向けての進捗状況と課題について	１，今議会補正予算で、西ノ岡中学校へ給食調理場建設のための実施設計費７００万円が計上された。実施へ向けての今後のスケジュールを聞く。 ２，実施に当たって現場教職員の意見を聞く場を持っていただきたい。①配膳・片付け時間の確保　②各教室への運搬、配膳台、給食当番の服装・健康チェック等　③教員の加重負担軽減のため給食補助員　④学校栄養教諭の配置を ３，給食実施前に保護者への説明会を開くこと ４，市民へも中学校給食が実施されることを広報等で知らせていただきたい。
２．中学校における「部活」について	１，学習指導要領で中学校の部活動は「生徒の自主的、自発的な参加」となっているが、現実として、部活動入部への有無や成績が内申書に影響するといわれている。参加の自由を保障し、楽しむことが本来の部活動であると思うがどうか。 ２，なんらかの部活動をしている生徒の割合の把握はしているか。年度初めと末の入部差はあるか。 ３，勝利至上主義から生徒第一主義の生徒が主人公の部活動、今日の結果より未来の成長とした科学的根拠に基づいた部活動のために、練習方法や練習時間の工夫が必要とされている。生徒の負担を考慮し、土日に練習試合や遠征、大会、演奏等で活動した場合、月曜日の活動を休止するなど工夫されているが、他に取られている対策について聞く。 ４，顧問教員の負担軽減のための対策について聞く。

３．貴重な長岡宮跡牛車わだち跡複製の保存と活用について	１９６５年、府教委が行った朝堂院発掘現場から出た長岡宮造営時のわだちの跡の複製が、府立山城郷土資料館の収蔵庫に保管されている。造営時の様子を確認できる大変貴重なものであり、長岡宮跡のあるまちとして向日市にあってこそ価値があるのではないか。山城郷土資料館から移動し、本市で公開・展示することはできないか。
４．耐震改修後の本庁舎の機能充実について	今議会で向日市役所東向日別館（仮称）の取得議案が出された。市民にとって便利で身近な行政機関となるよう期待するとともに、現在の本庁舎も多くの市民に取って使いやすい市役所となるよう以下要望する。 １,授乳室や子どもを遊ばせることが出来るスペース、来庁者の休憩場所の確保 ２，オストメイト対応、おむつ替え機能（男女共）含む多機能トイレの設置 ３，市民活動等が出来るコミュニティスペースの設置 ４，本庁舎や東向日別館（仮称）への市民から意見・要望を聞く審議会、パブリックコメント等行うこと

傍聴者　配付資料

一般質問通告書

総括質問

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、第２保育所を公立で建て替え存続する事などについて	老朽化した第２保育所の建て替えは緊急である。建て替えを公立か民間かで第２保育所保護者はじめ保育関係者の大きな心配事である。市長は保護者や市職員組合の意見や声を聞いて頂きたいがどうか。建て替え計画はいつ出すのか。来年度は待機児童ゼロにできるか。育休中の上の子どもの退所をやめること。当面３歳児だけでも来年度から年齢を引き下げて頂きたいがどうか。保育士はじめ市職員の定期的なメンタルチエックを行って頂きたいがどうか
２、来年度実施の介護保険の新総合事業などについて	来年４月から介護保険制度の見直しで要支援向けの「訪問介護」と「通所介護」が介護保険の対象から市の事業に移管される。１１月１０日・１１日に「向日市介護予防・日常生活支援、総合事業者説明会」の第１回目が開催。本市では今年の７月現在、介護保険の認定者は２，４００人で、そのうち要支援１は２８７人、要支援２は３３８人となっており、要支援者は合計６２５人で介護認定者の約２６％おられる。この方々や介護事業所や介護者の今後に関わるのが新総合事業です。市民への新総合事業への提示予定はいつ頃か。市民の要望・意見を聞く機会を設けて頂きたいがどうか。先日の説明会でサービス報酬単価案が示され、これまでの約８５％に引き下げられている。これではヘルパーさんや通所介護者の給与で削るか事業者が負担するかであり、要支援者のサービスより要介護者のサービスを増やしたほうがましだとなり、

	これでは要支援の方々の受け皿が不足し、サービスを受けられない事態になりかねない。要支援者の方々のサービスを後退しないと保障できるか。報酬単価案を現状どおりにして頂きたい。ボランテイアなどによる基準緩和型を市はどのように考えているのか。単価引き下げにより事業所がつぶれたり、介護職の給与が引き下げられかねない。この対策は。基本チエックリストだけにせず、介護認定の申請ができるようにして頂きたい。国のさらなる介護保険改悪に反対して頂きたい。
３、北部人口増による４向小と寺戸中の生徒の受け入れ及び地域要望について	北部開発による人口増は来春入居予定の長谷工マンションでピークとなる。この間の阪急不動産などの北部開発では子育て世代の入居が非常に多い。その傾向から見ても長谷工マンションも同様に子育て世代の入居が多いと予想される。４向小・寺戸中学校の生徒の受け入れ対策は待ったなしとなってきた。４向小は現在各学年すべて３クラスで、２１ある普通教室は各学年の教室で空き教室はありません。その他に理科室や音楽室など１５の特別教室も使われています。あとは小さい部屋が６つです。９月議会の答弁では「普通教室として利用可能な教室などもある。児童数の推計に努めている」との事でしたが、現在４向小１年生は９８人、他の学年も９７人などで数名増えたらクラス増となり、教室が必要。寺戸中も同様。当面来年度、生徒数の増によるクラス増の場合、４向小、寺戸中の生徒の受け入れはどうするのか。４向小や寺戸中の増築計画はどうか。寺田西公園の広く使いやすい場所を商工業振興センターに占用され建設される。広い範囲での説明と遊具の修復やベンチなどの設置はどうか。ラジオ体操の乾電池補助及び子ども食堂への補助金制度はどうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書

分割質問

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．京都地方税機構の強権的な差し押えを改め、納税者の権利拡充を	１、向日市から税機構への移管・収納の状況は ９月末で、乙訓２市１町において合計数字では、１０万円未満、１０から２０万円未満、２０から３０万未満、３０万円以上１００万円未満、１００万円以上の滞納者でそれぞれ５段階の人数、収納状況は。 ２、滞納者の実態把握について 地方税機構に送られていく前の段階として納税ができなかった市民の「分納相談」はどのようにされているか。 又、滞納者の実態把握は ３、納税者の保護の保障 強引な取り立てをする税務行政は改めること ４、「換価の猶予申請」は納税者の権利 「換価の猶予」の申請があったら書類は渡すこと。 ５、 税機構への職員派遣について、 ・派遣期間が終了したら職員さんが代わっていきます。 派遣の基準はあるのでしょうか。又、これまでも述べ人数および税務職員として派遣先での処遇改善はされているのか
２．予算要求に関連して	（１）外環を市に移管し、西ノ岡丘陵の環境保全を ・「塩漬け」状態の外環用地を市に移管できるように手続きすること。 ・不法投棄対策の取り組みは ・道路予定地（寺戸町大牧地内）ゲートボール場の整備の要望に応えては （２） 新たに外来種が発見された「ミズヒマワリ」の駆除対策及び今後のとりくみは （３）広報掲示板の改善・総点検を （４）市道２０９７号の歩行者安全対策（転落防止柵設置や舗装改修）

	（５）「西ノ岡トリムコース」と「竹の径」を観光や散策コースの呼称。竹林を生かした古墳街道に。 ・トリムコース看板はだいぶ古くなっています。書き変え整備してはどうか。
３．４０年を超えた高浜・美浜原発の再稼働に反対表明を.	1.福井県美浜原発３号機を再稼働容認する報道がされました。６月には高浜原発１．２号機に続き更に最長２０年間運転について意見表明してはどうか。 ２、原発事故の放射能ひばくから子どもの健康、市民の安全を考え「安定ヨウ素剤」の備蓄についてその後の調査・研究はされているのか。 ３、高速増殖炉「もんじゅ」は廃炉しかない。 全国５２の原発施設は廃炉処理費用は子々孫々まで巨額の費用が発生する。その分について政府は国民負担の計画を隠していることが判明。再稼働の場合には巨大な国民負担が半永久的なツケを負わされる、又核のゴミ　は(使用済核燃料）あと６年で処理場はどこもいっぱいになるがここにも。 4.　住宅用太陽光パネル設置に補助金制度を検討すること。